

# コロンビア経済ビジネス概況

2016年10月14日

日本貿易振興機構(ジェトロ)

ボゴタ事務所

# 近年のマクロ経済動向

主な項目	
GDP成長率	2016年上半期: 2.3%、製造業(5.4%)、金融・保険・不動産(4.2%)が牽引。鉱業(△5.9%) 2016年の見通し: 2.3%(中銀)、2.2%(IMF) 2017年の見通し: 3.0%(中銀)、2.7%(IMF)
1人当たり名目GDP	5,623ドル
インフレ率	2016年9月: 7.27%(7月: 8.97%) 2016年: 6.00~6.50% 2017年末には中銀目標(3.0%±1)の上限4.0%になるとの予想。
政策金利	7.75%(直近2期連続で据え置き) 順調にインフレ率が中銀目標に近づいていけば、利下げも
対ドル為替レート	2,924.80ペソ/USD(10月7日時点) 2,900~3,100ペソで推移。
失業率	9.0%(2016年9月)
貧困率	27.8%(2015年)、前年より0.7ポイント改善、1世帯月額所得: 894,552ペソ以上
貿易収支 (2016年1-7月)	72.4億ドル(前年同期比△14.3%)
輸出 (2016年1-8月、FOBドル)	195.2億ドル(前年同期比△22.2%減)、原油・石炭輸出は95.2億ドル(同32.3%減)
輸入 (2016年1-7月、CIFドル)	249.0億ドル(前年同期比△22.7%減)、工業製品は187.8億ドル(同24.9%減)

# 和平に向けた動き



- ・国内紛争は50年以上(1964年～)
- ・FARC(コロンビア政府革命軍)とは、キューバのハバナで和平交渉再開(2012年10月～)
- 15年9月23日 6カ月以内に和平合意すると発表
- 16年3月 和平合意に至らずと発表
- ELNとの和平交渉開始
- 16年6月22日 FARCとの停戦合意
- 16年8月24日 和平交渉最終合意
- 16年9月26日 和平合意署名@カルタヘナ
- 16年10月2日 国民投票 僅差で不承認
- 16年10月7日 サントス大統領ノーベル平和賞受賞

## ポストコンフリクト

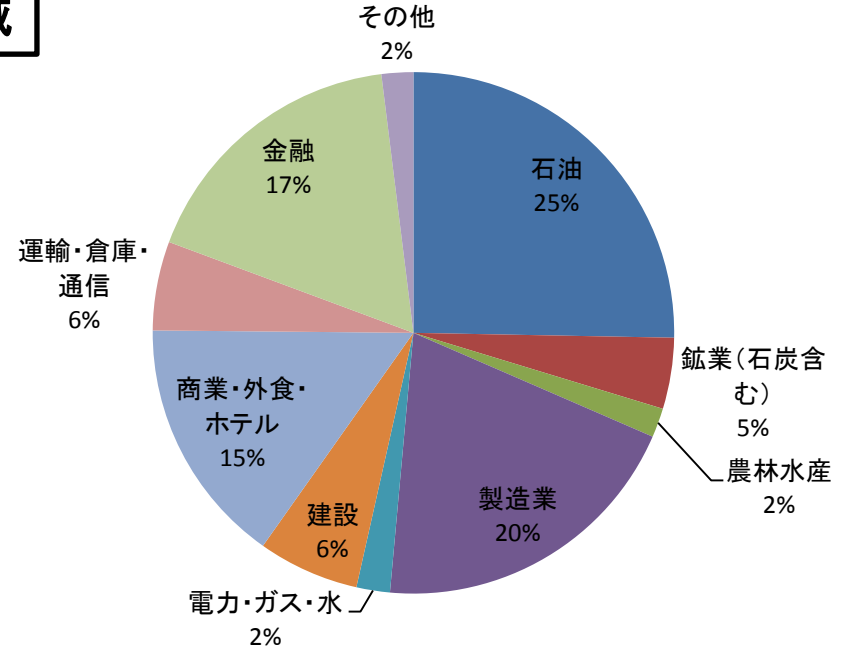
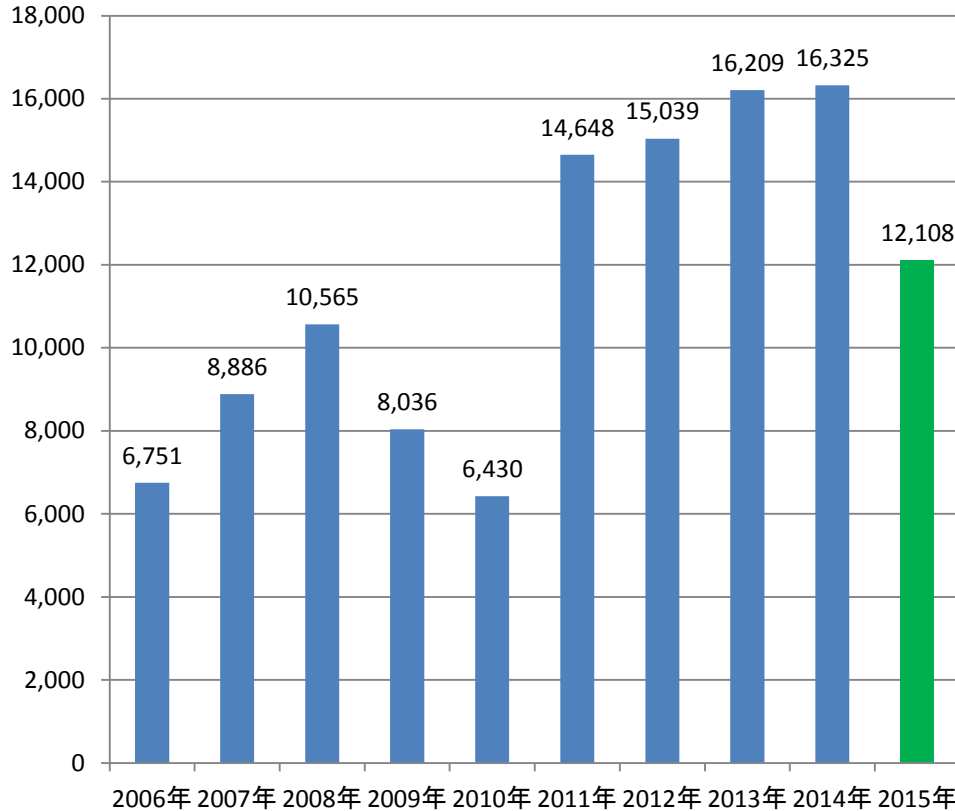
- ・米国はコロンビア和平計画に基づき、引き続き支援を継続。
- ・2017年度の国家予算では、和平交渉および社会的包括予算として、8兆1,550億ペソ(約27億ドル)を査定。
- ・アグロインダストリー、観光産業、インフラ整備などに期待。



# コロンビア向け外国直接投資(FDI)の推移

## 2015年のFDI受入れ構成比

2015年、史上最高の受入れ額の2014年より激減



## 主要国・地域別のFDI受入れ状況(1994-2015年、百万ドル)

国・地域	累計値	構成比
欧州地域(英国、スペイン等)	50,343	33.0%
タックス・ヘイブン地域(*)	35,727	23.4%
米国	31,720	20.8%
<b>日本</b>	<b>437</b>	<b>0.3%</b>
その他地域	34,376	22.5%
合計	152,603	100%

(\*)ルクセンブルグ、英領アンギラ、パナマ、バミューダ

2015年：121.1億ドル(前年比25.8%減)

(※)16年上半期：83.5億ドル(前年同期比16.3%増)

●近年の治安回復・国内経済好調により、製造業、金融、商業・外食・ホテルなどがFDI受入拡大傾向

(出所) 中央銀行統計  
 (注-1) 国際収支ベース  
 (注-2) 06～直近年推定値

出所:中央銀行

# コロンビアの魅力と課題

## 魅力

- ・**政治・経済の安定**  
ハイパーインフレ経験がない  
健全な財政運営
- ・**拡大する中間層**  
中間所得層が低所得層を上回る
- ・**労働者の質の高さ**  
真面目で、手先が器用  
生産効率が高い
- ・**FTAネットワーク**  
64カ国と14のFTA、  
日本とのEPA交渉中
- ・**両洋に港、空港欧米路線拡大**  
パナマ運河拡張最適な輸送条件  
米州主要都市は6時間以内のフライト

## 課題

- ・**インフラの未整備**  
WEFの交通インフラ競争力指数(2015-2016)  
米国5.90(9位)、中国5.09(21位)、  
メキシコ4.55(36位)、チリ4.13(45位)、  
ブラジル3.48(77位)、コロンビア3.01(98位)
- ・**税制・税務手続きの煩雑さ**  
WEFの徴税競争力指数(2015-2016)  
チリ27.9(30位)、米国43.8(95位)、  
メキシコ51.8(115位)中国64.6(128位)、  
ブラジル69.0(134位)、コロンビア75.4(137位)
- ・**治安**  
WEFの治安競争力指数(2015-2016)  
チリ5.50(32位)、米国4.88(60位)、  
中国4.73(70位)、ブラジル4.21(94位)、  
メキシコ3.22(129位)、コロンビア3.12(134位)

# ビジネス関連ニュース

- ・**ブラジルとの自動車貿易協定(経済補完協定第59条の追加議定書)**  
それぞれの国で一定の域内付加価値を達成した自動車について年間最大5万台(1年目1万2,000台、2年目2万5,000台、3~8年目5万台)の無税枠を設ける。
- ・**2016年上半期の新車登録台数は11万7,099台。**  
前年同期比では13.7%減となった。通年では26万台弱になると予想する。ブランド別では、Chevroletが28.6%で首位、次いでRenault(23.6%)、KIA(11.8%)、Mazda(8.5%)、Ford(7.4%)と続く。
- ・**ボゴタ市メトロ1号線プロジェクト**  
全長30.6Kmで地下ではなく高架とし、工期を3つに分ける。  
第1および第2期工事(全長25.3Km15駅)の入札は、17年中、18年中の着工、22年の完成を目指す。  
総額予算:13兆6,000億ペソ(中央政府70%、ボゴタ市30%をそれぞれ負担)
- ・**石油・ガス開発**  
国家エネルギー庁(ANH)は石油・天然ガス鉱区の開発権の入札公示予定。  
対象はカリブ海沿岸沖を中心に33鉱区および太平洋域12鉱区。



ご清聴ありがとうございました

ジェトロ・ボゴタ事務所  
所長 高多 篤史  
Atsushi TAKATA,  
Representante Legal

JETRO BOGOTÁ  
Calle 77 #7-44 Of. 603  
Tel: +57-1-321-6385/86 Fax: +57-1- 317-9240  
e-mail: [Atsushi\\_Takata@jetro.go.jp](mailto:Atsushi_Takata@jetro.go.jp)

「無断で複製・配布することを禁じます」

# ご参考資料



# コロンビアの外資規制概要

## 【規制業種・禁止業種】

- 防衛、治安、国外産出の有害物質・放射能物質の処理・廃棄を除き、どの経済分野への外国投資も認める。
- また、少数の分野を除いて事前承認も必要ない。  
ただし中央銀行への届け出は必要。

## <事前承認が必要な投資>

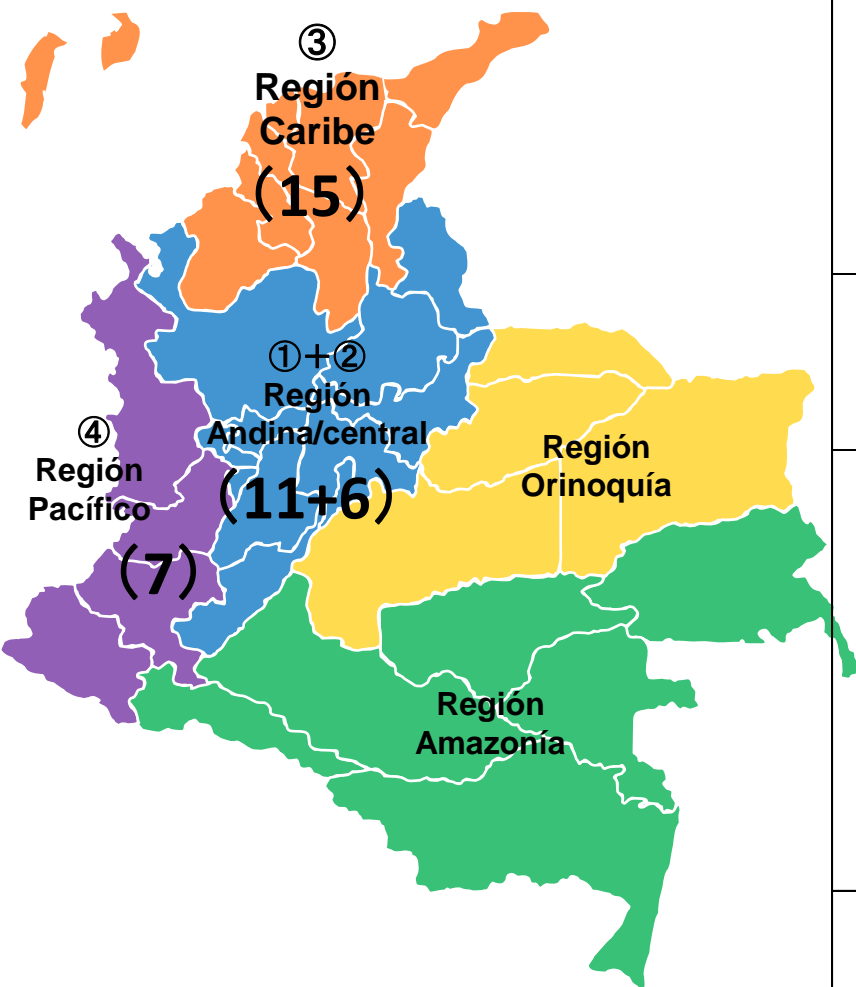
1. 金融機関・保険部門への投資(金融監督局)
2. 炭化水素分野, 鉱業への投資(鉱業・エネルギー省)
3. 証券投資  
直接の投資ではなく、外国投資ファンドを通じての証券投資。  
この場合外国投資ファンドが金融監督局に事前許可を申請。

# 主要拠点設立形態概要(単純型採用傾向)

	1. 株式会社 (S.A.: Sociedad Anonima)	2. 有限責任会社 (Limitada.またはLtda: Sociedad de Responsabilidad Limitada)	3. 単純型株式資本公司 (SAS: Soceidad por Acciones Simplificada)	4. 支店 (Sucursal)
設立	公正証書による設立。公証役場では引受資本金の0.27%~0.29%の公証人手数料並びに同手数料の付加価値税(16%、IVA)を支払うこと。	公正証書による設立。公証役場では引受資本金の0.27%~0.29%の公証人手数料並びに同手数料の付加価値税(16%、IVA)を支払うこと。	公証役場での設立株主署名による私文書設立。署名認証に係る手数料は発生。公証人手数料は不要。	公正証書による設立。公証役場では引受資本金の0.27%~0.29%の公証人手数料並びに同手数料の付加価値税(16%、IVA)を支払うこと。
登録	設立の公正証書は会社所在地を管轄する商業会議所に登録する義務あり。引受資本金の0.7%相当額を登録権料として支払う。	設立の公正証書は会社所在地を管轄する商業会議所に登録する義務あり。引受資本金の0.7%相当額を登録権料として支払う。	設立に係る私文書を会社所在地を管轄の商業会議所に登録する義務あり。引受資本金の0.7%相当額を登録権料として支払う。	設立の公正証書は会社所在地を管轄する商業会議所に登録する義務あり。引受資本金の0.7%相当額を登録権料として支払う。
出資者数	最低5名で株主数の上限は無い。いずれの株主も株式会社資本金の94.99%超の株式保有は不可。	最低2名、最高25名。出資者当たりの出資割合の制限は無い。	1名またはそれ以上の株主で、設立株主とは異なる法人であること株主数に制限は無い。	適用されない(本社)。
資本金	会社資本金の主な構成は次の通り:①授権資本金、②引受資本金、③払込資本金。株主は、設立時に少なくとも授権資本金の50%の出資並びに引受資本金の3分の1の支払いを行うこと。	会社の資本金は、設立時に総額が支払われること。	会社資本金構成は「株式会社」と同様、但し払込資本金は、各資本の義務的配分は無く、株主間の割当割合を自由裁量で決定可能)。株主は全員一致の下、10年単位での株式譲渡制限が可能。	支店の資本金は、本社が決定し金額の制限は無い。
利点	出資者の責任は出資額に限定	1名または2名の出資者で設立可能。責任はごく稀な例を除いて出資額に限定される。	主要利点は、①幅広い設立趣旨が設定可能、②株主1名から設立可能、など。	本社は、払込資本金への追加投資可能性あり。

(出所)コロンビア投資環境ガイド(2013年3月、ジェトロ・ボゴタ事務所発行)

# フリートレードゾーン(FTZ)国内分布



地域名	自治体(県名)	フリートレードゾーン名	小計
① Región Andina アンデス地域	Norte de Santander	Cúcuta	11
	Santander	Santander	
	Boyacá	Agroindustrial GEA	
	Tolima	Industrial y Logística de Ibagué	
	Cundinamarca	Intexzona	
		Metropolitana	
		Occidente	
		Zofrandina S.A.S.	
		Tocancipa	
		IFOU S.A.S.	
	Bogotá	Bogotá	
② Región Occidental 西部地域	Antioquia	Rionegro	6
		Zofiva S.A.S.	
		Uraba	
	Quindío	Eje Cafetero	
	Caldas	Andina	
Risaralda	Internacional de Pereira		
③ Región Caribe カリブ海地域	Atlántico	La Cayena	15
		ZOFIA	
		Barranquilla	
		Del Río	
	Bolívar	Santelca	
		Parque Central	
		Puerta de las Américas	
		Dextón	
		La Candelaria	
	Zofranca		
	Guajira	Brisa	
	Magdalena	Las Américas	
		Tayrona	
Palermo			
Santa Marta			
④ Región Pacífico 太平洋地域	Huila	Surcolombiana	7
	Cauca	Cauca	
		Parque del Sur	
	Valle del Cauca	Celipa	
		Pacífico	
		Zonamérica	
		Palmaseca	
合計(永久FTZ制度のみ)			39

# フリートレードゾーン(保税地区)

## 【フリートレードゾーン内の主な税制上及び関税上の優遇措置】

税制上	関税上
すべての工業利用者については、所得税一律15%。商業利用者については、通常税率25%の適用。	迅速且つ簡素な搬入手続き。
輸入財がフリートレードゾーン内にある限り、当該財の輸入にかかる税(関税と付加価値税)が免除。	商品の搬入については、フリートレードゾーンの利用者宛の運送書類もしくは利用者向けに裏書きされた運送書類のみが必要。
最終財の関税コードを使用し、外国産の投入財の付加価値税を支払い、当該関税コードが適用される財の製造プロセスに入る前に原材料の内国貨物化を行えば、フリートレードゾーンで製造された財を内国貨物化することが可能。	フリートレードゾーン内で生産された財は、コロンビアが締結する自由貿易協定又は通商協定の枠組みでは、コロンビア産とみなされる(ペルーを除く)。
財又はサービスの工業利用者に対する原材料、部品、投入財及び国内で最終仕上げをされた財の販売については、事業の展開に必要な場合に限り付加価値税が免除。	9カ月までは部分的な加工のために原材料をフリートレードゾーン外に一時的に持ち出すことができる。
フリートレードゾーン内の財の国外向けの販売及び出荷は、輸出とみなされ付加価値税が免除。	国境港湾フリートレードゾーンと国内港湾フリートレードゾーン間の在庫管理及び物流業務の容易さ。 搬入される商品には、蔵置期限は設けられていない。

常設フリートレードゾーン内で財の生産、サービスの提供及び商業活動を行うためには、利用者は以下の基準を満たさなければならない。

\*金額は概算値であり、2016年の法定最低賃金689,454COPをもとに算出。為替レート1USD=3,200COP

総資産額 (単位:米ドル)	投資額 (単位:百万米ドル)	直接雇用人数 (単位:人)
0 - 108,000	0	0
108,000 - 1.08百万	0	20
1.08百万 - 6.4百万	1.0	30
6.5百万以上	2.4	50

(出所) コロンビア貿易投資観光促進機関(Procolombia)

# ボゴタ市・メデジン市とのコスト比較

## 工業団地、事務所、店舗、駐在員用住宅【単位:US\$】

工業団地、事務所、店舗、駐在員住宅	(単位:US\$)		
	ボゴタ	メデジン	備考
工業団地(土地)購入価格(m <sup>2</sup> 当たり)	165.80	80.68	10カ所平均(1,000~3,200m <sup>2</sup> )
工業団地借料(月額m <sup>2</sup> 当たり)	4.32	6.18	10カ所平均(380~6,077m <sup>2</sup> )
事務所賃料(月額m <sup>2</sup> 当たり)	18.30	12.97	10カ所平均(31~1,250m <sup>2</sup> )
市内中心部店舗賃料(月額m <sup>2</sup> 当たり)	55.51	30.27	10カ所平均(55~649m <sup>2</sup> )
駐在員用住宅賃料(アパート、月額)	1,612.08	1,204.39	10カ所平均(105~180m <sup>2</sup> )

職種別月額賃金(2015年)	(単位:US\$)	
	ボゴタ	メデジン
ワーカー(一般工職)	340~493	315~480
エンジニア(中堅技術者)(月額)	717~1,153	796~1,121
中間管理職(課長クラス)(月額)	2,434~3,334	2,232~3,575
非製造業のスタッフ(一般職)(月額)	773~1,228	726~961
非製造業のスタッフ(営業職)(月額)	195~303	199~249
非製造業のマネージャー(課長クラス)(月額)	2,069~3,412	2,669~3,359
店舗スタッフ(アパレル)(月額)	223~352	222~347
店舗スタッフ(飲食)(月額)	202~269	195~262

(出所) ジェトロ J-File 投資コスト比較より

(注1) 1ドル=3,213.24ペソ

(2016年1月5日付インターバンクレート)

(出所) Total Rewards 2015 - Estudio Salarial y de Tendencias en Gestión Humana11

(注1) 基本給のみ

# コロンビアのビジネス環境の課題 ～税務と物流の高コスト～

主要新興国の税務環境

国名	順位	納税手続回数	年間税務所要時間	実効税率
		(回/年)	(時間/年)	(%)
南アフリカ	20	7	200	28.8
マレーシア	31	13	118	40.0
チリ	33	7	291	28.9
ロシア	47	7	168	47.0
ペルー	50	9	260	35.9
トルコ	61	11	226	40.9
タイ	70	22	264	27.5
メキシコ	92	6	286	51.7
フィリピン	126	36	193	42.9
中国	132	9	261	67.8
<b>コロンビア</b>	<b>136</b>	<b>11</b>	<b>239</b>	<b>69.7</b>
インドネシア	148	54	234	29.7
インド	157	33	243	60.6
ベトナム	168	30	770	39.4
アルゼンチン	170	9	405	137.4
ブラジル	178	9.6	2,600	69.2
地域平均				
OECD高所得国		11.1	176.6	41.2
中東・北アフリカ		17.7	216.1	32.6
欧州・中央アジア		19.2	232.7	34.8
東アジア・大洋州		25.3	201.4	33.5
南アジア		31.3	299.3	38.9
ラテンアメリカ・カリブ		30.1	361.0	47.7
サブサハラ・アフリカ		38.6	308.6	46.5

(注)順位は年間所要時間の対象189カ国・地域における順位。  
税金の種類や所要時間が少なく、実効税率が低い方が  
順位が高くなる。実効税率は法人税や社会保険負担金  
などの企業負担租税の合計で、法人利益に対する%。

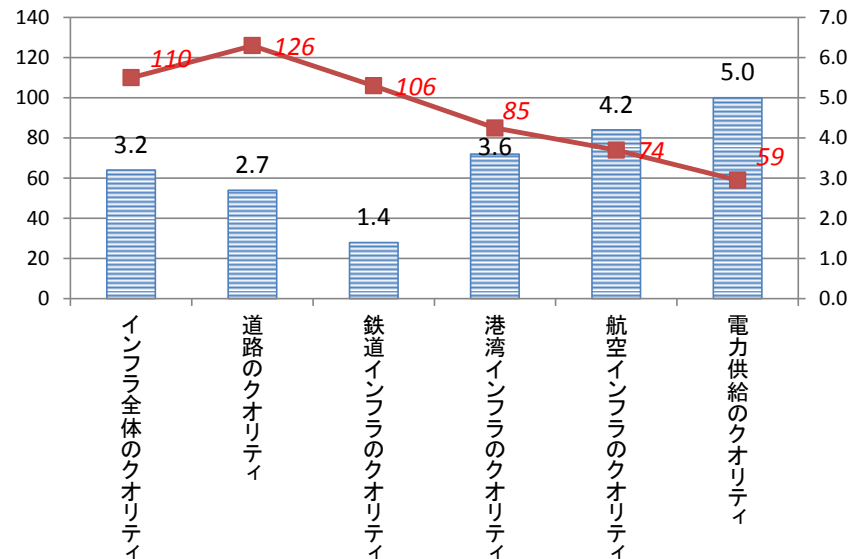
(出所)The World Bank, *Doing Business 2016*

ラテンアメリカ主要国の国際競争力順位(140カ国中)

	総合	インフラ	道路
チリ	35	45	35
メキシコ	57	59	54
<b>コロンビア</b>	<b>61</b>	<b>84</b>	<b>126</b>
ペルー	69	89	111
ブラジル	75	74	121
アルゼンチン	106	87	108
ベネズエラ	132	119	128

(出所)WEF, Global Competitiveness Report 2015-2016

コロンビアのインフラに関する国際評価



(注)スコアは低1→7高、国別順位は140カ国中。

(出所)WEF2015-2016

■ スコア (右軸) ■ 国別順位 (左軸)